

今年度の「チーム医療演習」は35名の学生(看護学科12名、薬学部14名、理学部9名)が参加し、8月8日(月)～10日(水)の日程で森林公園ホテル・ヘリテージ(埼玉県熊谷市)にて合宿による演習形式で実施しました。今回はこれまでの活動内容を一部変更し、「職種理解」と「がん医療(乳がん)における多職種連携・協働」としました。

初日は、まずアイスブレイキングを行い、チームワーキングへの準備を整えた後に、チーム医療における各職種の役割理解を目的とした活動を行いました。他職種専攻の学生との交流が少ない本学の学生にとっては、他職種の役割や他職種から自職種がどのように捉えられているかを知る良い機会になったようでした。

2日目は午前到目前の活動内容についてのプレゼンテーションを行い、午後には乳がん患者の事例を基に、がん医療における多職種連携・協働をテーマとした活動を行いました。佐倉病院の職員の方々のご指導を仰ぎながら、シナリオに登場する患者さんとそのご家族に、各職種の強みを活かした1つのチームとして、どのように対応していくかを議論しました。その成果は最

終日のプレゼンテーションに十分に示されていました。

今回も学生にとって有意義な活動であったと考えていますが、医学部医学科の学生の参加がなかったことは残念でした。来年はすべての職種の学生が参加するように取り組んでいきたいと思っています。(医・心理学・講師)



就職内定者紹介 ～応用編～

4年生内定者に就職活動の秘訣を教えてくださいました。就職活動を進めるにあたり、ぜひ参考にしてください。 ※7月号「内定者紹介～内定取得編～」からの続きです。

④就活と勉強をどのように両立させましたか？

●メリハリのある生活を送るように心がけました。就職活動をしているから勉強ができないというのは言い訳になってしまっていると感じたので、事前に今日は就職活動をする日、明日は学校の勉強をする日と決めていました。そしてテストの1週間前から就職活動は一切やらないと決めて、メリハリをつけることを意識していました。

また、1、2年生のときに単位をしっかり取り、一つひとつの授業をしっかりとして吸収するようにしました。3、4年生の勉強は1、2年生のときに学んだことがとても重要になります。就職活動が始まってから、学校の勉強と就職活動を両立することを意識するのではなく、1、2年生のときから意識し、努力することが大切だと思います。

⑤自分の専門分野外ですが、大学での学びを会社でどう活かしていきたいですか？

●私は「努力すること」「自分でじっくりと考えること」を大学生活で学びました。この2つのことは、社会に出ても必ず活かすことができると考えています。専門

●吉野 智美 (理学部化学科4年)

内定社名：NTTdocomo株式会社 職種：総合職文系

分野外の仕事ですが、今まで学んできたことはまったく無駄にはならないと思います。理学部化学科に在籍していたことを誇りに思い、仕事をしていきたいです。

⑥これから社会に出る意気込みなどを聞かせてください。

●私は世の中に新しい価値を生み出したいと考えています。それがNTTdocomoでなれると思います、入社を決意しました。世の中に新しい価値を生み出すことは簡単なことではありませんが、東邦大学理学部化学科で学んだ「努力する力」「自分でじっくりと考える力」を活かして頑張っていきたいと考えています。

⑦3年生または低学年のうちからどんなことをやるといいですか？

●すべてのことに全力を出してみてください。勉強やアルバイト、旅行、遊びなどで得た経験は社会人になってから大きな力となります。就職活動は私たちが今まで「何を考え」「どう行動して」そして、「過去の経験を社会に出てからどう活かせるのか」を知ってもらうことがとても大切だと思います。

